

* 3 和紡従業員の生活時間調査

愛知学芸大 奥山 静

1 愛知県三河地方には特殊産業として和紡（ガラ紡）工業が発達している。之等の多くは家内工業的な小企業或は零細企業で環境の好ましくない作業場で働いている状態は、現代社会の一縮図とも考えられる。今回は和紡に従事する従業員の生活時間を調査し以って彼等の生活実態を明らかにせんとしたものである。

2 対象は 16 工場を無作為的に選出し之等の工場に働らく男，女，22名40名計62名についてタイムスタデー法により詳細に調査を行った。

3 1. 労働時間は一般に永く最高は男（反毛工）14.1時女（精紡工）13.12時で，同種の中工場勤務工員の8.25時に比すると遙かに長時間である。2. 生活時間は労

働時間が長い為そのしわ寄せが社会文化的時間、家事時間に及んでいるが、生理的時間並びに睡眠への影響は少ない。3.生活時間内の社会文化的時間の占める割合を女子工員既婚者についてみると和紡に従事する者 11 %に比し小売業者 14.4 %、農業 15.2 %、教員 27.4 %、一般公務員 27.4 %となり和紡では甚だ短縮している、又未婚女子労務者の場合も 4 %短縮している。4.家事時間の占める割合を既婚女子労務者についてみると、和紡 18.8 %に対し小売業者 25.5 %、教員 25.1 %、一般公務員 24.8 %、農業 23.2 %であり、未婚労働者の家事作業時間は 13 %であり、同種の中工場の工員に比し 2 %短縮している。